



一関市立室根中学校 校報

室中校報

令和7年度 第15号 R7. 9. 22

電話:64-2131

文責:大道篤史

2学期が始まり、1か月がたちました。この期間、宿泊研修や修学旅行、地方新人大会等大きな行事がありました。1学期に生徒、保護者の皆さんから「まなびフェスト」という形で評価をいただきました。また夏休みには「情報メディア我が家のルール」についてご提出いただきました。今回はその結果を報告しながら、2学期を通して取り組んでいきたいことについてお示しします。

「まなびフェスト」の取組状況は…アンケート結果から分かること

○7月にご協力いただいた「まなびフェストアンケート」の結果をお知らせします。

1 まなびフェスト達成率 ※「当てはまる」「やや当てはまる」の回答の割合を集計 ○は昨年度よりUP

学校教育目標	まなびフェスト 「学校が取り組む9つの約束」	指標	アンケート結果				
			R6	7月(全体)	1年	2年	3年
【確かな学力】	1 授業が分かる	80%以上	86%	○90.2%	92.6%	84.2%	93.3%
	2 1時間以上「家庭学習」に取り組む	80%以上	59%	○73.8%	88.9%	63.2%	60.0%
【豊かな人間性】	3 行事等に取り組む	80%以上	90%	83.6%	74.1%	89.5%	93.3%
	4 積極的に挨拶する	80%以上	90%	○91.8%	92.6%	89.5%	93.3%
	5 掃除に取り組む(自分の係の仕事や役割を果たそうとする)	80%以上	97%	91.8%	88.9%	94.7%	93.3%
【健康・体力】	6 健康に心がける(朝食・歯磨き・睡眠)	80%以上	88%	○91.2%	96.3%	87.7%	86.7%
	7 安全な学校生活を送れる	80%以上	96%	○98.4%	100%	94.7%	100%
	8 スマホ・ゲーム等使用の家庭のルールを守る	80%以上	89%	83.6%	85.2%	84.2%	80.0%
	9 学校生活に満足している	80%以上	—	83.6%	77.8%	84.2%	93.3%

●学校教育目標【意欲をもち、主体的に学ぶ生徒〈確かな学力〉】 まなびフェスト項目1,2

・1については、生徒の授業に対する取り組み方、特に「聞く姿勢」が良いことから、授業内で理解できている生徒が多いと考えられます。一方、2の家庭学習については昨年度よりも評価は上がっているものの、まだ十分な量に取り組めているとは言えません。

〈なぜ?〉 他の質問項目「いつも決まった時刻に家庭学習を始めている」では、学年が上がるにつれ達成度が低くなっています。部活動・地域クラブの夜練以外にも、スマホ利用が家庭学習に影響を与えている可能性も高いと考えられます。せっかく授業で理解しても、家庭学習での不足があり、知識が定着していないことが考えられます。

〈これをやります!〉

- ・次の授業で「つかう」宿題を意図的に出し、反復学習による知識の定着を図ります。
- ・文化祭後には、岩手日報デジタル版の購読取り組み(朝読書時間)を始め、社会性だけでなく、読解力の向上にもつなげます。
- ・キャリア学習の充実を進め、「なりたい将来の自分像」を描き、目標を持って取り組めるようにします。

●学校教育目標【心豊かで、思いやりのある生徒〈豊かな人間性〉】 まなびフェスト項目3~5

・3の行事への取組については、学年が上がるにつれ役割も多くなり達成感を感じることが多いと思われます。4のあいさつと5の掃除や自分の係の仕事については、評価の通りまじめに取り組んでいる生徒が多いと感じています。学年としての役割を自覚する中で責任感も育つのでしょうか。

1年生の自覚も徐々に高まっています。日常生活からお互いに思いやりを持ち、いたわる姿勢が見られ、今後も大切にしてほしいです。

＜これをやります！＞

- ・生徒会役員選挙(10月)を通じて、より良い学校を築くために、リーダーだけではなくそれをフォローするフォロワーの成長も図っていきます。
- ・教育相談週間や生活アンケートを定期的実施し、生徒の悩みやストレスを早めにつかみ、ご家庭と共有します。

●学校教育目標【体を鍛え、最後までやり抜く生徒〈健康・体力〉】 まなびフェスト項目6～9

・6の「健康に心がける」(朝食・歯磨き・睡眠)は、高評価でしたが、「いつも決まった時刻に寝ている」は8割を下回っています。睡眠のアンバランスは体調を崩すもととなるため、睡眠時間も含め生活リズムを大切にしていってほしいと感じます。7では学校を安全なところと認識している生徒がほとんどであり、今後も継続できるよう努力していきたいです。8の家庭でのSNSのルールについては生徒の8割以上が守られているという意識ですが、保護者は5割であり、認識の乖離が大きくなっています。9の学校生活の満足度は目標の8割を越えていますが、満足感を得られていない生徒も少なくありません。

＜なぜ？＞ 「いつも決まった時刻に寝ている」は8割を下回っていることも遅い時間でのスマホ利用が原因として考えられます。学校生活の満足度については、部活動の未加入者が1/3近くなりますが、日常生活で熱中できるものを求めている表れかもしれません。

＜これをやります！＞

- ・中間・期末テスト時にメディアコントロール週間の取組を行います。併せて「情報メディア家庭のルール」を意識してもらうよう取り組みます。
- ・情報モラル研修会を実施し、保護者とともに学習する機会を設けます。

「情報メディア我が家のルール」紹介します

夏休み中にご協力いただいて「情報メディア我が家のルール」を作成していただきました。各家庭でしっかりと考えて提出いただき、ありがとうございました。今週中間テストがありますが、取り組み期間中、「我が家のルール」を意識してテスト勉強に改めて取り組んでいただきたいと思います。その中身についてご紹介します。当然各ご家庭で様々です。あがってきた内容について紹介しますのでご覧いただき、参考にしてみてください。

利用 時間	●9時以降は使用しない (これが大多数です) その他に ・夜9:30～9:40以降はインターネット端末は親に預ける ・使うのは10時まで ・ゲーム、動画は11時まで ・夜8時メディアを消し、すぐに寝る
使用 時間数	・1日1時間、休日2時間 ・1日2時間まで (これが多数です) ・平日3時間未満、休日6時間未満 ・利用場所を決めて時間を守る ・SNSは5時間まで ・スマホは休日のみ(夏休みは外出時のみ)、2時間以内
お金	・課金はしない (これが大多数です) ・課金をしすぎない(5000円以内)
ライバー	・個人情報の扱いには十分に気をつける ・ネットで悪口を言わない ・知らない人とつながらない
その他の ルール	・やることをやってからゲームやタブレットを使う。(宿題・手伝い・自分の仕事) ・ごはんの時は使わない ・10分に1度はスマホから目を離す